



第 16 回 相馬御風顕彰 ふるさと俳句大会 <児童・生徒の部>

趣 旨	糸魚川市内の多くの学校の校歌や童謡「春よ来い」の作詞者である文人相馬御風は、郷土を愛し、そこに生活する人々を慈しみ、優れた詩歌・随筆を数多く残しました。また、松尾芭蕉ゆかりの地「市振」には、御風の筆でしたためられた芭蕉の句の石碑があり、古くから糸魚川は文芸と深く関わってきた地域です。 児童、生徒の皆さんから相馬御風について学んでいただくとともに、俳句を通じ文芸の芽をさらに伸ばしていただくことを願い「ふるさと俳句大会」を開催します。	
大 会	期 日	令和 7 年 11 月 29 日(土)
	会 場	ヒスイ王国館（糸魚川市大町 1-7-11／TEL025-553-1210）
	日 程 (予 定)	12 時 30 分 受付 13 時 30 分 開会・講演 ＊講師 俳人 小林 貴子さん＊ 14 時 40 分 選者選評（児童・生徒の部、一般の部） 15 時 40 分 表彰式 16 時 10 分 閉会
作品募集	募集対象	小学 3 年以上の児童、中学校・高等学校の生徒及びこれに相当する年齢の方
	募集作品	1 人 1 句まで ※未発表作品に限る 自然や暮らしなどをテーマとする俳句
	応募方法	応募用紙に、氏名、学校名、学年、組を書いて、提出してください。 ※ <u>学校単位で応募の場合は、学校ごとに取りまとめて提出してください。</u> ※ <u>入賞作品は作品集に掲載しますので、氏名は正しく記載してください。</u>
	応募期限	令和 7 年 7 月 18 日(金) ※当日消印有効
	応 募 料	無料
	選 者	俳誌『森』主宰 森野 稔 さん
	各 賞	御風賞（最優秀賞）・優秀賞・奨励賞・佳作 各賞に記念品を贈呈
	発 表	入賞者に通知（学校単位で応募の場合は学校経由） 10 月下旬予定
	作 品 集	入賞者に進呈
主 催	糸魚川市教育委員会・糸魚川市文化協会	
後 援	御風会	
応 募 ・ 問 合 先	〒941-8501 糸魚川市一の宮 1-2-5 糸魚川市教育委員会事務局文化振興課文化行政係 TEL 025-552-1511(内線 2262)	



◎楷書で「マス」に一字を記入してください。読みにくい字のみ、ふりがなをつけてください

◎特に必要のない場合は、スペースをあげないでください。

[illegible]

※受付番号		
学校名	お名前	ふりがな
() 都道府県 小・中・高等 学校	※お名前は正しく記載してください。	
学年・組 年 組		

住所	
〒 -	
電話	

※個人で応募される場合は、住所と連絡先を記入してください。（学校単位は不要）

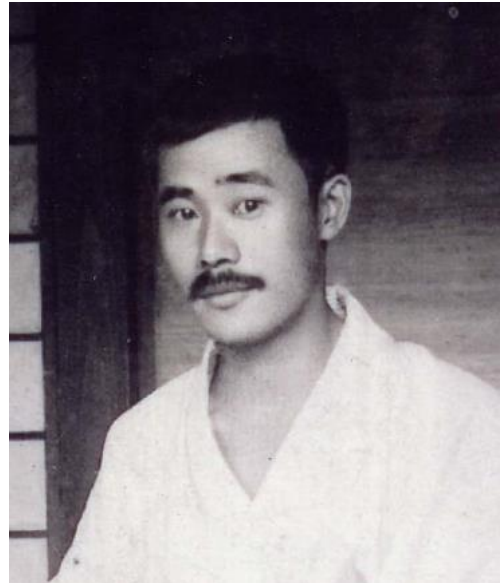
ふるさとの自然、くらし、こころを文芸で発信した偉人

そう ま ぎょふう 相馬 御風

1883 年～1950 年（本名は昌治）

春よ来い はやく来い
あるきはじめた みいちゃんが
赤い鼻緒（はなお）の ジョジョはいて、
おんもへ出たいと 待っている

春よ来い はやく来い
おうちのまえの 桃の木の
蕾（つぼみ）もみんな ふくらんで
はよ咲きたいと 待っている



皆さんが良く知っている童謡「春よ来い」は、御風さんの一番有名な作詞作品で、短歌や俳句のように、日本語の5音と7音の組み合わせの美しさを感じさせます。

内容は春を待つ雪国の子ども、花の気持ちを歌ったもので、御風さんはこのようにそのものの心になって文章を表すことが得意でした。

御風さんは、新潟県の糸魚川で生まれ育ちました。子どものころから、俳句や短歌をつくるのが好きで、東京の大学へ進学してからも、新しい形の詩をつくったり、外国の小説を日本語にほんやく、外国の考え方を紹介したりして、人々から注目されました。

また、日本で一番有名な校歌「都の西北 早稲田の森に…」で始まる早稲田大学の校歌を作詞したことでも知られています。ほかにも流行歌の作詞をするなど、人々の心をつかむ言葉を詩にのせることに秀でていました。

ふるさとを離れ東京でくらしていた御風さんが、再びふるさと糸魚川に帰ってきたのは32歳のときでした。そして、自然や人々のくらしを大切に思う短歌や詩や文章をたくさん書きました。

また、御風さんは、良寛（りょうかん）さまというお坊さんの研究でも有名です。現在の私たちは、心が豊かであるということはどういうことかを、良寛さまを通じて知ることができます。

みなさんも、日本が世界に誇る短い詩のかたちである、俳句、短歌などで、自分の気持ち、こころや自然の美しさを表してみませんか？